

1 アーチェリー

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人またはチームでなく、NPCに対して割り当てられる。

1ヶ国 男子12名以内、女子12名以内、1種目 3人以内の申込
チーム競技は1ヶ国1チーム（3名、個人競技参加者で構成）

各種目の割当枠数

種目	参加資格枠数
男子個人コンパウンド W1	12
男子個人リカーブ W1/2	32
女子個人リカーブ W1/W2	20
女子個人リカーブ スタンディング	20
女子個人コンパウンド オープン	8
男子個人リカーブ スタンディング	24
男子個人コンパウンド オープン	20

標準記録（2007年1月1日から2007年7月6日）

種目	FITA	720ラウンド
男子個人コンパウンド W1	1150	575
男子個人リカーブ W1/2	1100	550
男子個人リカーブ スタンディング	1100	550
男子個人コンパウンド オープン	1200	600
女子個人リカーブ W1/W2	1000	450
女子個人リカーブ スタンディング	1000	450
女子個人コンパウンド オープン	1100	520

参加資格獲得方法

1 2007IPCアウトドア・アーチェリー世界大会

1) チーム参加資格

男子18名 男子チーム・リカーブ競技における上位6位までのチームに各3名
女子12名 女子チーム・リカーブ競技における上位4位までのチームに各3名

2) 個人参加資格

下記の個人クラス競技の各々における上位3位までのアスリート（チーム参加資格法によって参加資格を与えられなかったアスリート）は、1つの参加資格枠を与えられる。男子12名 女子9名

男子個人コンパウンド	—W1
男子個人リカーブ	—W1/2
男子個人リカーブ	—スタンディング
男子個人コンパウンド	—オープン
女子個人リカーブ	—W1/W2
女子個人リカーブ	—スタンディング
女子個人コンパウンド	—オープン

2 主催国割り当て

男子4名（リカーブ3名、コンパウンド1名）
女子3名（リカーブ2名、コンパウンド1名）

3 IPCアウトドア・アーチェリー世界ランキング割り当て（男子54 女子24）

（2007年1月1日—2008年1月30日）

ステップ1 —他の方法でNPCに対し参加資格枠を得たアスリートは除かれます。

ステップ2 —残ったアスリートのうちでトップにランクされたアスリートから、ランク順に従いクラス競技割当数の最大限に達するまで、またはアスリートの参加資格スコアがMQSを下回らない限りにおいて、参加資格枠が各々のNPCに対して割り当てられます。

W1/W2及びコンパウンドオープンクラス競技においては、最後の4枠はIPCアーチェリーの裁量によってアスリートに割り当てられます。

2 陸上競技

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人でなく、NPCに対して割り当てられる。

IPC 陸上は、特定のスポーツクラスのアスリートに対して指定された最大限20の参加資格枠（男子と女子あわせて）を留保しておくことができる。このワイルドカードの参加資格はNPCでなく、指名された選手に配分される。

NPCに割り当てられた女子選手枠を使用しない場合は、男子枠の割当数も減少する。

選手はIPC陸上部門の登録が必要。

選手が2006年10月1日から2008年7月1日の間にIPC陸上の認定大会で最低参加資格基準をクリアしていなければならない。

最低参加資格基準（MQS）は2007年1月31日までに公表される。

1ヶ国 男女合わせて80名以内

1種目 3人（全てA標準）以内の申込 2名または1名のA標準突破者+1名のB標準

チーム競技は1ヶ国1チーム（6名登録、ただし個人競技参加者）

マラソンは6名（ただしマラソン競技のみの登録は3名まで）

2006 IPC陸上競技世界大会割り当て

男子400 女子200

北京パラリンピック実施種目において4位までの選手に対し、NPCは1つの参加資格枠を有する。

上記割当数を超えた場合は、最高の競技結果（即ち、世界記録に比例して）をもつアスリートを有するNPCに配分する。

上記割当数に達しない場合には、最低参加資格基準（MQS）適用及びIPC陸上競技世界ランキング表による配分法に従い、参加資格枠を再配分する。

この結果は2006年10月1日までに公表する。

日本は男子6、女子1枠を獲得

IPC陸上競技世界ランキング表による配分

男子300 女子115

IPC陸上の認定を受けたA基準（MQS）の競技結果により配分される。

手順1—2007年12月31日時点でのIPC陸上競技ランキング表における上記の基準に適合するアスリートの総数が、各々のNPCの性別の参加資格の基礎を決定する。

手順2—各々のNPCの参加資格の基礎は、2007年12月31日時点でのIPC陸上競技ランキング表で上記の基準に適合するアスリートの総数で割られ、NPCの性別の「参加資格係数」を決定する。

手順3—NPCの参加資格係数に、次の性別最大参加資格枠割り当て数を乗じて、のNPCの参加資格枠の割当数が決定される。（端数は四捨五入する）。

上記方法により割当数に達しない場合には、B基準（MQS）の競技結果により配分される。

この結果は2008年1月31日までに公表します。

ワイルドカードによる配分

男子10 女子10

最後の20枠はIPCとIPC陸上部門によってアスリートに割り当てられます。

3 ボッチャ

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人またはチームでなく、NPCに対して割り当てられる。

1ヶ国 BC1/BC2 1チーム、BC3 1ペア、BC4 1ペア

チーム競技は1ヶ国1チーム（3名、個人競技参加者）

2007年11月30日時点における個人世界ランキング表に載っている選手

各種目の割当枠数

BC1/BC2チーム（4名のうち1名以上BC1クラスの選手）が参加登録できる。

BC3ペア（3名）が参加登録することができる。

BC4ペア（2名）が参加登録することができる。

これらの選手は個人競技に参加登録できる。1種目3名まで参加できる。

下記の種目に参加するNPCは、女子選手を含めなければならない。

参加登録競技	女子選手参加登録最小割当数
BC1/BC2チーム及びBC3ペア及びBC4ペア	2
BC1/BC2チーム及びBC3ペア	2
BC1/BC2チーム及びBC4ペア	2
BC3ペア及びBC4ペア	1
BC1/BC2チーム	1
BC3ペア	1
BC4ペア	0

CPISRA ボッチャ チーム及びペア パラリンピック参加資格ランキング表割り当て

（2007年11月30日時点）

BC1/BC2チーム 上位11以内（44名）

BC3ペア 上位7位以内（21名）

BC4ペア 上位7位以内（14名）

主催国割り当て（9名）

BC1/BC2チーム（1チーム） BC3ペア（1ペア） BC4ペア（1ペア）

ただし、2007年11月30日時点のCPISRA ボッチャ・チーム及びペア・パラリンピック参加資格ランキング表にランクされていることが条件となる。

4 自転車

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人またはチームでなく、NPCに対して割り当てられる。
ワイルドカード男子5名、女子5名の参加資格はNPCでなく、指名された選手に配分される。

1ヶ国 男子13名以内、女子5名以内

1種目3名以内

チーム・スプリント・クラス種目 1チーム

ロードレース混合種目クラスでは、6名以内（ただし同1クラス3名まで）

2008年9月6日時点で18歳以上の選手。

国際サイクリング・ユニオンのライセンス及びIPCクラス分け保有選手。

2006IPCサイクリング・ロード・トラック“合同”国別ランキング表割り当て

2006年12月31日時点における2006IPCサイクリング・ロード・トラックランキング

男子上位40位まで 女子20位まで

2007IPCサイクリング・ロード・トラック合同国別ランキング表割り当て

2007年12月31日時点における2007IPCサイクリング・ロード・トラックランキング

男子アスリート 95名 女子アスリート 23名

5 馬術

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人またはチームでなく、NPCに対して割り当てられる。

ワイルドカード3名の参加資格はNPCでなく、指名された選手に配分される。

1ヶ国 5名以内

個人種目 1種目3名以内

チーム種目 1チーム（チームは3名から4名で構成、1名のグレードI a、グレードI bまたはグレードIIの選手が含まれていること）

2006年1月1日から2008年1月30日までの期間に、FEI パラ馬術予選競技会の個人またはチーム競技において、少なくとも60%のスコアを達成していなければなりません。

2007FEIパラ馬術世界選手権大会

トップ3位までにランクされたチームは各々5の参加資格枠を与えられる。

パラ馬術チームランキング割り当て（各チームのベストのパーセンテージスコアに基づくチームのランキング）

ランク1位チーム 5名（他の方法で参加資格を得ていないチーム）

ランク2位から6位 4名（他の方法で参加資格を得ていないチーム）

パラ馬術個人ランキング割り当て（FEI パラ馬術予選競技会における各々のアスリートのベストのパーセンテージスコアに基づくスポーツクラスの個人ランキング）及び

2007FEI パラ馬術世界選手権大会及びパラ馬術チームランキング割り当て方法により参加資格を得ていないNPCのみが、この方法によって、参加資格枠を与えられる。選手20名

地域配分（各地域1名）

アフリカ アメリカ アジア ヨーロッパ オセアニア

主催国割り当て

選手 4名

6 サッカー 7-a-Side (脳性マヒ者)

参加チーム数 男子 8チーム

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人またはチームでなく、NPCに対して割り当てられる。

1ヶ国 男子1チーム 11名

2008年1月1日時点で15歳以上の選手。

CP-ISRACラス分け保有選手。

2006CP-ISRACサッカー7-a-Side 地域予選割り当て

2006CP-ISRACサッカー7-a-Side 地域予選の各々において首位にランクされたNPCは、参加資格を与られます。(ただし、2007CP-ISRACサッカー7-a-Side 世界選手権において上位10位以内にランクされたNPCであること)

アメリカ 1チーム アジア 1チーム ヨーロッパ 1チーム

2006FESPIC 大会サッカー7-a-Side (アジア-オセアニア地域予選) 日本は4位

2006年11月25日-12月1日

地域で首位にランクされたNPCが、2007CP-ISRACサッカー7-a-Side 世界選手権において上位10位以内にランクされていない場合には、2007CP-ISRACサッカー7-a-Side 世界選手権で次の高順位にランクされたNPC (他の方法で参加資格を得ていないNPC) に参加資格が与えられます

2007CP-ISRACサッカー7-a-Side 世界選手権割り当て

2007年11月3日-18日 2007CP-ISRACサッカー7-a-Side 世界選手権

ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ (アメリカ地域予選)

上位4位以内にランクされたNPC (他の方法で参加資格を得ていないNPC) に対して参加資格が与えられる。

主催国割り当て

男子1チーム

7 サッカー 5-a-Side (視覚障害者)

参加チーム数 男子 8チーム

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人またはチームでなく、NPCに対して割り当てられる。

1ヶ国 男子1チーム 10名

IBSAクラス分け保有選手。

2006 IBSAサッカー5-a-Side 世界選手権割り当て

首位 1チーム

2007 IBSAサッカー5-a-Side 地域予選割り当て

2007 IBSAサッカー5-a-Side 地域予選の各々において首位にランクされたNPCは、参加資格を与えられる。

アメリカ 1チーム アジア 1チーム ヨーロッパ 2チーム

アメリカ地域予選 (パラパン・アメリカ大会) ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ

2007年8月12日-19日

ヨーロッパ地域予選 2007年9月22日-30日

アジア地域予選 韓国、ソウル 2007年10月22日-26日

主催国割り当て

男子1チーム

ただし、2006 IBSAサッカー5-a-Side 世界選手権または2007 IBSAサッカー5-a-Side 地域予選に参加していなければならない。

8 ゴールボール（視覚障害者）

参加チーム数 男子 12チーム 女子 8チーム

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人またはチームでなく、NPCに対して割り当てられる。

1ヶ国 男子1チーム6名 女子1チーム6名

選手は2006年1月1日から2008年1月30日までの間に、IBSAゴールボール国際競技会において競技していなければならない。

2006 IBSAゴールボール世界選手権割り当て

男子は上位6位以内、女子は4位以内にランクされたNPC（他の方法で参加資格を得ていないNPC）に対して参加資格が与えられる。

主催国が2006 IBSAゴールボール世界選手権で参加資格を与えられた場合には、その枠は2007 IBSAゴールボール・パラリンピック予選トーナメント割り当て法に回されます

2006年6月26日ー7月2日2006 IBSAゴールボール世界選手権

米国、スパルタンブルグ（Spartanburg）

日本は男子予選敗退、女子はベスト8

2007 IBSAゴールボール・パラリンピック予選トーナメント割り当て

男子は上位5位以内、女子は3位以内にランクされたNPC（他の方法で参加資格を得ていないNPC）に対して参加資格が与えられる。

2007年7月28日ー8月6日2007第3回 IBSAゴールボール世界選手権大会

及び2007 IBSAゴールボール・パラリンピック予選トーナメント ブラジル、サンパウロ

主催国割り当て

2006 IBSAゴールボール世界選手権割り当て法によって参加資格を与えられていない場合には、直接男子1チームと女子1チームの参加資格が与えられる。

9 柔道

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人またはチームでなく、NPCに対して割り当てられる。

1ヶ国 男子7名以内、女子6名以内

各クラス1名

選手は2006年1月1日から2008年1月31日までの間に、IBSA柔道競技会において競技していなければならない。

2007 IBSA柔道世界選手権割り当て

各クラスにおいて男子は6位以内、女子は4位以内のNPCは1つの参加資格を与えられる。

2007第3回IBSA世界選手権大会及び2007IBSA柔道世界選手権

2007年7月28日 - 8月8日 ブラジル、サンパウロ

IBSA柔道世界ランキング割り当て

2007年12月31日時点における各クラスのIBSA柔道世界ランキング表において男子は上位5位以内、女子は3位以内にランクされたNPC（他の方法で参加資格を得ていない場合）は、該当する重量級において、所属するNPCのために1つの参加資格枠を与えられる。

主催国割り当て

2007IBSA柔道世界選手権割り当て法によって参加資格を与えられなかった場合には、各クラス男子、女子1名の参加資格を与えられる。

10 パワーリフティング

参加資格

参加資格の割り当てはNPCでなく、選手個人に対して割り当てられる。

1ヶ国 男子8名以内、女子8名以内

各クラス1名

選手は2008年1月31日までに、選手の出場クラスを確定しなければならない。

最低参加資格基準 (MQS)

選手は、2006年1月1日から2008年1月31日までの期間に、下記の最低参加資格基準 (MQS) を達成していなければなりません。

男子	MQS
48.00KG級	100.00KG
52.00KG級	110.00KG
56.00KG級	120.00KG
60.00KG級	130.00KG
67.50KG級	135.00KG
75.00KG級	142.50KG
82.50KG級	150.00KG
90.00KG級	157.50KG
100.00KG級	162.50KG
100.00KG超級	167.50KG

女子	MQS
40.00KG級	52.50KG
44.00KG級	55.00KG
48.00KG級	57.50KG
52.00KG級	60.00KG
56.00KG級	62.50KG
60.00KG級	65.00KG
67.50KG級	67.50KG
75.00KG級	70.00KG
82.50KG級	72.50KG
82.50KG級	75.00KG

IPC パワーリフティング男子及び女子世界ランキング表割り当て

2008年1月31日時点の世界ランキング表において、

男子は各クラス上位10位以内にランクされた選手が参加資格を獲得する。

女子は各クラス上位6位以内にランクされた選手が参加資格を獲得する。

主催国割り当て

なし

ワイルドカードによる配分

各クラス男女2

11 ボート

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人またはチームでなく、NPCに対して割り当てられる。
1ヶ国 各クラス1 8名以内

選手はFISA国際クラス分けを所持していること。

選手は2006年1月1日から2008年7月6日までの期間に、FISA公式競技で競技していなければならない。

2007世界ボート選手権（2007年8月26日－9月2日 ドイツ、ミュンヘン）割り当て

下記種目の上位8位以内にランクされたボートに参加資格が与えられる。

- ・AM1x ・AW1x ・TAMMix2x ・LTAMix4+
- ・開催国配分

開催国がいずれの競技においても参加資格を得なかった場合、開催国が最も高い順位にランクされている競技に（男子及び女子アスリートの両者の代表を確保して）、参加資格枠を割り当てます。

2008パラリンピックレガッタ最終予選（2008年5月9日－11日 未定）割り当て

下記種目の上位2位以内にランクされたボート（異なる国の）に参加資格が与えられる。
を与えられます。

- ・AM1x ・AW1x ・TAMMix2x ・LTAMix4+

12 セーリング

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人またはチームでなく、NPCに対して割り当てられる。

1ヶ国 各種目に1枠

シングル・パースン・キールボート ツー・パースン・キールボート（うち1名は女子であること。）

スリー・パースン・キールボート

選手は2005年1月1日から2008年7月6日までの間に、国際障害者セーリング連盟公認競技会において競技していなければならない。

2007年9月6日以降、選手は他の国のために競技する目的で国籍を変更することはできない。

2006IFDS 障害者セーリング世界選手権割り当て

シングル・パースン・キールボート 上位7位までのNPCに1ボート

スリー・パースン・キールボート 上位7位までのNPCに1ボート

2006年1月15日-29日

2006IFDS 障害者セーリング世界選手権 オーストラリア、パース

2007IFDS 障害者セーリング世界選手権割り当て

シングル・パースン・キールボート

上位6位までのNPC（他の方法で参加資格を与えられないNPC）に1ボート

ツー・パースン・キールボート 上位6位までにNPCに1ボート

スリー・パースン・キールボート 上位6位までのNPCに1ボート

2007年9月7日-15日

2007IFDS 障害者セーリング世界選手権 米国、ニューヨーク州、ローチェスター

2008IFDS 障害者セーリング世界選手権割り当て

ツー・パースン・キールボート 上位5位までのNPCに1ボート

2008IFDS 障害者セーリング世界選手権 場所一未定

開催国割り当て

シングル・パースン・キールボート 1ボート

ツー・パースン・キールボート 1ボート

スリー・パースン・キールボート 1ボート

13 射 撃

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人またはチームでなく、NPCに対して割り当てられる。

1クラス1ヶ国 3名まで

2006年1月1日から2008年7月6日までの期間に、下記の最低参加資格基準（MQS）を達成していなければならない。

ライフル		
R1-10mエアライフル 立射-SH1		563
R2-10mエアライフル 立射-SH1		367
R3-10mエアライフル 伏射-SH1		590
R4-10mエアライフル 立射-SH2		585
R5-10mエアライフル 伏射-SH2		590
R6-50mフリーライフル 伏射-SH1		565
R7-50mフリーライフル3x40-SH1		1080
R8-50mスポーツライフル3x20-SH1		530
ピストル		
P1-10mエアピストル-SH1		545
P2-10mエアピストル-SH1		347
P3-25mスポーツピストル -SH1		540
P4-50mフリーピストル-SH1		505

ワイルドカードによる配分 4

希望するNPCはIPCに対して書面により正式申請をしなければならない。

IPC 射撃パラリンピック大会参加資格リスト（リスト）割り当て

2006年1月1日から2008年1月30日までの期間に行われる下記の競技会に2つ以上の参加し、MSQを満たしていなければならない。

2006IPC 世界選手権

2006/2007地域選手権

MQS 認定の競技会

A) NPCあたりの適格なアスリート参加資格数の決定： $Q = MQS + WR$

Q=NPCの参加資格に適格なアスリートの総数

MQS=MQSのみによって得られる適格な参加資格の総数

WR=世界及び/または地域競技によって得られる適格な参加資格の総数

B) MQS 競技によってのみ得られるNPCの適格なアスリート参加資格の百分率（%）係数の決定： $P = \frac{MQS}{Q}$

P=MQS 競技によってのみ得られる適格なアスリート参加資格の百分率（%）

使用可能な参加資格枠の範囲内で、MQS 競技によってのみ得られる適格なアスリート参加資格の総数の決定： $Y = MQS \times P$

Y=使用可能な参加資格枠の範囲内で、MQS競技によってのみ得られる適格なアスリート参加資格の総数

適格なアスリート参加資格の総数の決定： $TE = Y + WR$

TE=パラリンピック大会射撃参加資格リスト（NPCあたり）における適格なアスリートの総数

全体のNPCアスリート割り当て率の決定：

$$\frac{140 \text{アスリート-BIPARTIETE 招待}}{\text{パラリンピック大会射撃参加資格リスト（すべてのNPC）における適格なアスリートの総数}} = R$$

R=NPCのアスリート割り当て率

参加資格枠割当総数（NPCあたり）の決定： $TE \times R = TS$

TS=NPCあたりの参加資格枠割当総数

男子・女子両者の適格なアスリートを有するNPCへの割当数は性別比率によって割り当てられます。

$$\begin{aligned} TE(M) \times GP(M) &= GR(M) \\ TE(F) \times GP(F) &= GR(F) \end{aligned}$$

TE(M) = NPCの適格な男子アスリートの総数

TE(F) = NPCの適格な女子アスリートの総数

GP(M) = 性別百分率(%) : 男子71.421%

GP(F) = 性別百分率(%) : 女子28.571%

GR(M) = 性別男子比率

参加資格枠（NPCあたり）割当数の決定：

$$GR(M) + GR(F) + RS = TS(M/F)$$

RS=残りの枠

TS(M/F) = 男子及び女子アスリートを有するNPCに対する参加資格枠の割当総数

性別割り当てによって、すべての枠が特定の性に割り当てられない場合には、残った枠は各々のNPCの裁量によって配分されます。

適格な男子のみ、または女子のみを有するNPCに対する割当数は、100%各々の性のアスリートに割り当てられます。

2006年 3月23日-30日 Jikjiji カップ・オープンアジア選手権
2006年 3月24日-26日 ポーランド・オープン
2006年 5月12日-14日 フランス・グランプリ
2006年 5月18日-20日 Hessenpokal
2006年 7月 7日- 9日 Padova カップ
2006年 7月12日-22日 2006IPC 射撃世界選手権
2006年11月25日-12月1日 FESPIC 大会
2007年 3月23日-25日 ポーランド・オープン
2007年 5月 2日-13日 フランス・グランプリ
2007年 5月 5日-13日 Jikjiji カップ・オープン・アジア選手権
2007年 6月 1日- 3日 クロアチア・オープン
2007年 7月22日-29日 IPC 射撃オープン・ヨーロッパ選手権
2007年 8月23日-27日 スロバキア・オープン
2007年11月27日-12月4日 オセアニア選手権

14 水泳

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人でなく、NPC に対して割り当てられる。
ワイルドカードの場合は、選手個人に割り当てられる。(男子15、女子15)

アスリートは、2006年1月1日から2008年7月1日までの選考期間内に出場する各競技会において、最低参加資格基準(MQS)を達成していなければなりません。

参加制限

1ヶ国 男子35名 女子25名
1種目 個人競技 3人
リレー競技 1チーム

2006IPC水泳世界選手権大会割り当て

北京2008パラリンピックプログラムの1以上の個人種目においてトップ3位までの男子アスリートとトップ3位までの女子アスリート、および2005年1月1日から2006年12月31日までの期間におけるIPC水泳世界ランキングリスト上でトップ3にランクされ、この期間内に認定されたMQSを達成したアスリートに対して、NPCは1つの参加資格枠を与えられます。

男子120 女子90 (2007年5月4日までに公表します。)

IPC水泳世界ランキングリスト割り当て

2006年1月1日から2007年12月31日の間に認定されたMQSの競技結果を達成し、2006年IPC水泳世界選手権割り当て法によって参加資格枠の割り当てを受けておらず、かつIPC水泳世界ランキングリストでトップ10位にランクされているアスリートを有するNPCは、関連するアスリートの競技結果をそのNPCの参加資格枠の最終的な割り当て数を決定するために用いられます。決定方式は下記のとおりです。

男子195 女子125 (2008年1月31日までに公表します。)

スケジュール

2008年3月21日までに

IPC水泳は、NPCに対して割り当てられる参加資格枠の数を書面で確認します。

IPC水泳は、NPCに対して、BIPARTITE委員会招待による参加資格枠を書面で確認します。

2008年4月4日までに

NPCは、IPC水泳に対して参加資格枠の使用を確認します。

NPCは、IPC水泳に対して、BIPARTITE委員会招待による参加資格枠の使用を確認します。

2008年4月25日までに

IPC水泳は、未使用の参加資格枠の再割り当てを書面で確認します。

2008年5月2日

北京2008組織委員会がNPCによって提出される信認申請様式を受け付ける期限

2008年7月7日

北京2008組織委員会がNPCによって提出される参加登録様式の受け付け締切

15 卓球

参加資格

参加資格の割り当てはNPCでなく、選手個人に対して割り当てられる。

選手は2007年12月31日時点で世界ランキング表にランクされていなければならない。
選手はIPC卓球クラス分けカードを保有していなければならない。

1種目 個人競技 3人
チーム競技 2名から4名（ただし、個人競技参加者）

チーム競技のチーム数 男子 6から16チーム
女子 6から12チーム

2007IPCテーブル・テニス地域大会割り当て

個人競技でクラス毎に首位にランクされた選手
・ アフリカ ・ アメリカ ・ アジア・オセアニア ・ ヨーロッパ

IPC テーブル・テニス男子及び女子世界ランキング表割り当て

2007年12月31日時点でのIPC卓球世界ランキング表において、首位にランクされた男子アスリート（他の方法では資格を与えられなかった者）は、個人競技に与えられた割当数まで、参加資格を与えられる。

クラス	男子	クラス	女子
クラス1	3	クラス1-2	7
クラス2	10	クラス3	10
クラス3	24	クラス4	10
クラス4-5	29	クラス5	10
クラス6	10	クラス6-7	7
クラス7	10	クラス8	3
クラス8	10	クラス9	3
クラス9-10	24	クラス10	3

ワイルドカードによる配分

希望するNPCはIPCに対して書面により正式申請をしなければならない。

クラス	男子	クラス	女子
クラス1	1	クラス1-2	1
クラス2	2	クラス3	2
クラス3	2	クラス4	2
クラス4-5	3	クラス5	2
クラス6	2	クラス6-7	1
クラス7	2	クラス8	1
クラス8	2	クラス9	1
クラス9-10	2	クラス10	1

16 バレーボール

参加チーム数 男子 8チーム 女子 8チーム

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人またはチームでなく、NPCに対して割り当てられる。

1ヶ国 男子1チーム12名 女子1チーム12名

選手は WOVD 国際クラス分けシステムに従って、クラス分けされていなければならない。

2006 バレーボール (シットティング) 世界選手権割り当て

2006年6月18日-26日 オランダ、Roermond

男女とも3位以内にランクされたNPC

2006/2007 WOVD バレーボール (シットティング) 地域選手権割り当て

男女とも首位にランクされたNPC (他の方法で参加資格を得ていないNPC)

・ アフリカーアラブ地域

・ 米州大陸地域

2007年8月12日-19日

2007リオ パラ パンアメリカン大会 ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ

・ アジアーオセアニア地域

2006年11月25日-12月1日

2006 FESPIC 大会 マレーシア、KL

・ ヨーロッパ地域

主催国割り当て

男子1チームと女子1チーム

ただし、2006/2007 WOVD バレーボール (シットティング) 地域選手権に参加していなければならない。

17 車椅子バスケットボール

参加チーム数 男子 12チーム 女子 10チーム

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人またはチームでなく、NPCに対して割り当てられる。

1ヶ国 男子1チーム 12名 女子1チーム 12名

IWBF 国際クラス分け保有選手。

2006/2007IWBF 車いすバスケットボール参加資格トーナメント割り当て

男女とも首位にランクされたNPC

- ・アフリカ 1チーム
- ・アメリカ 1チーム
- ・アジア・オセアニア 1チーム
- ・ヨーロッパ 1チーム

2006IWBF 車いすバスケットボール世界大会割り当て

2006年7月3-16日 オランダ アムステルダム

男子は上位7位、女子は上位5位までにランクされたチームはその地域において1つのチーム

参加資格枠を入手する。

アジア・オセアニアゾーンの3ヶ国が上位7位に入り、北京大会の参加枠は3ヶ国となった。

主催国割り当て

男女 各1チーム

2006/2007IWBF 車いすバスケットボール参加資格トーナメント

- ・IWBF アフリカ
- ・IWBF アメリカ
- ・IWBF アジア・オセアニア
 - 男子 Arafura Games (Austral)
 - 2007.5.12-19
 - 女子
- ・IWBF ヨーロッパ

18 車いすフェンシング

参加資格

参加資格の割り当てはNPCでなく、選手個人に対して割り当てられる。

1ヶ国 男子6名以内、女子4名以内

各クラス2名以内

選手は2006年1月1日から2008年2月29日までの間に、公式IWAS車いす競技会で競技していなければならない。

選手はIWAS車いすフェンシング世界ランキング・リストにランクされていなければならない。

2006IWAS車いすフェンシング世界選手権割り当て

2006年9月29日ー10月7日 イタリア、Turin

男女各クラスにおいて首位の選手

2007IWAS車いすフェンシング地域選手権割り当て

下記の地域選手権の各々のクラス競技において首位にランクされた男女選手（他の方法で参加資格を得ていないアスリート）

・アメリカ ・アジア ・ヨーロッパ

IWAS車いすフェンシング世界ランキング・リスト割り当て

2008年2月29日時点におけるIWAS車いす世界ランキング・リストに基づいて参加資格を与えられる。

級	割当数
男子 A 級	20
男子 B 級	18
女子 A 級	12
女子 B 級	12

主催国割り当て

男女 各1名

19 ウィルチェアーラグビー

参加チーム数 8チーム

参加資格

参加資格の割り当ては選手個人またはチームでなく、NPCに対して割り当てられる。

1ヶ国 男子1チーム 11名、または女子1名以上を含む12名

IWBF 国際クラス分け保有選手。

選手は2006年1月1日から2008年1月30日までの期間に、IWAS 車いすラグビー競技会で競技していなければならない。

2006IWAS 車いすラグビー世界選手権割り当て

2006年9月7日-17日 ニュージーランド、クライストチャーチ

首位にランクされたNPC

2007IWAS 車いすラグビー地域選手権割り当て

下記にランクされたNPC

- ・アメリカ 1チーム
- ・アジア・オセアニア 1チーム
- ・ヨーロッパ 2チーム

IWAS 車いすラグビー世界ランキング・リスト割り当て

2008年1月30日時点における世界ランキング・リストで上位2位以内にランクされたNPC（他の方法で参加資格を与えられていない）

主催国割り当て

1チーム

ただし、2008年1月30日時点においてIWAS 車いすラグビー世界ランキング・リストにランクを有することが条件です。

20 車いすテニス

参加資格

5名以上の参加資格のある選手を有するNPCに対しては、参加資格は、個々の選手に対してではなく、NPCに対して割り当てられる。4名以下のNPCに対しては、参加資格は個々の選手に対して割り当てられる。

ワイルドカードによる配分の場合は、選手に割り当てられる。

1ヶ国 男子4名以内、女子4名以内、男女（クアドクラス）3名以内
男子2チーム以内 女子2チーム以内、男女（クアドクラス）1チーム

選手は2008年5月19日時点でITF 車いすテニスランキング表において公式ランキングを有していなければならない。

ITF 車いすテニス世界ランキング割り当て

2008年5月19日時点でのITF 車いすテニス世界ランキング表において、上位にランクされた選手は参加資格を与えられます。

男子 48位
女子 24位
クアド選手 12位

ワイルドカードによる割り当て

男子 16名
女子 8名
クアド選手 4名